



とある精神科病院の様子



jaafar

病院での待ち合わせ

ある週の月曜日の午後、「自動受付機」で診察カードを通して、順番を待つ。

「順番が呼ばれる」のは「番号制」で14年前と違って「名前を呼ばれなくなり」、「番号」で呼ばれるようになった。

以前は「カード」が無くて「名前」で呼ばれ、今では「番号」で呼ばれるようになった。

だが、呼ばれても来ない場合は看護師が呼びに行き、順番待ちが長い時もある。

「カウンセリング」の時は非常に困る。

それを解消する為に早く病院に行き、受付を済ませて会計に「遅れる」と連絡する。

しないでいたら混乱した事があったからだ。

そう言えば、いつもの薬が「ジェネリック」になったので「薬の値段」が安くなった。

なぜなら、私は「生活保護」を受けているので生活支援課から「ジェネリックにきなさい」と言う通達があり、私は慣れていますが、慣れていない人には「負担を感じる」ように思える。

診察が終わったら処方箋を持って「調剤薬局」に行き、薬をもらうが、カウンセリングの時間にかかる時は、病院に戻り臨床心理士によるカウンセリングを受ける。

色々とアドバイスをもらい、指示に従って「食べたもの」を書いている

食える物と食えない物

私はムスリムなので豚肉が食えない、だから、ハンバーグやポークカレーが食べられない。でも、「敬虔な仏教徒」がいて、「特別メニュー」になっていて、私も頼んだが、看護師長は「ダメ」の一言で片付いた。

その話を地元のモスクの運営者でもあり、モスク運営団体の会長に相談して、その話を看護師長に話したら、「「栄養課：入院患者と職員の食事を作る組織」の人にも言ったけど「ダメ」と言われた。」と語った。

あるモスクの責任者に「この食事」を話したら、「精進料理はよい」と言い「敬虔な仏教徒」の様に今度頼んで見ようと考えている。

デイケアでの茶道の稽古の時間

週に一度通っているデイケアでは、茶道の稽古の時間がある。

その動きの様子をiPhone5で写そうとしたら。

「「不立文字」で「自分の体の動き」(但し、体罰ではない)で覚えるのですよ」

と言われ、裏千家の「助教授」でもある先生に教わり、「盆略」の段階だが、未だに覚えられない事がある。

柄杓でお湯を汲んでお茶をたてるようになりたいと思っている。

昔と今

デイケアではコーヒーなどの飲み物を「自分で用意」し、それを飲んでいる。

昔は「帰りの会」の時に日直がお茶とコーヒーを作っていたが、今は大きく変わり、「夏合宿」、「デイケア喫茶」が無くなり、今は「バレーボール」に熱を入れて、千葉国体に参加したが、参加させてもらえず主治医に意地悪されたメンバーがいて病院を変えたそうである。

終わりに

皆さんいかがでしたか？

これが私が「現在進行形」の病院との係わりで、今でも続いている事柄です。

最後まで読んでいただきありがとうございました。

jaafar

とある精神科病院の様子

<http://p.booklog.jp/book/66602>

著者 : jaafar

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/jaafar/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/66602>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/66602>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ